

蘆花記念公園グランドデザイン（長柄桜山古墳群を含む） 市民説明会の概要

（１）目的

蘆花記念公園は、風光明媚な逗子市の特徴を表す風致公園として市民に愛されているが、一部の施設は、法令上や老朽化等の問題により長らく利用されていない状態が続いている。

しかし、近接する長柄桜山古墳群第１号墳の整備完了、公開に伴い、ビジターセンターや公衆トイレ等の整備も望まれる一方、地域住民からは、津波避難対策や備蓄等の防災機能の向上を望む声がある。

このため、公園内にある各施設のあり方を単体で考えるのではなく、公園全体に長柄桜山古墳群を含めた一体のエリアとして、地域住民や公園利用者と対話をしながら逗子市の魅力向上に資するグランドデザインを描くことになり、３回のワークショップを経てグランドデザイン（再整備・運用の構想）の案を作成した。

このグランドデザインについて、広く市民に説明し意見聴取するため、市民説明会を開催した。

（２）説明会の概要

日 時：令和６年１０月５日（土） ９：３０～１１：００

会 場：逗子市役所５階 第２・３会議室

参加者：３５名

当日のスケジュール

９：３０～９：４０	開会あいさつ
９：４０～１０：１５	概要説明
１０：１５～１１：００	質疑・応答

（３）説明会の様子



(4) 質疑応答

	質問・意見等	回 答
1	施設運営は民間に託すということだが、指定管理は期間が短く Park-PFI であれば期間が長いことがメリットだが、契約後に市民の声が届きにくいというデメリットがある。丸投げにならないよう、市民の声が反映されるような体制を考えてほしい。	すべて丸投げにすることはしない。市民が関われる仕組みを構築したい。 Park-PFI 手法を用いる場合は、10 年～20 年のスパンで管理運営を任せることになる。
2	旧脇村邸は価値が高いということであるが、歴史的背景について行政から説明がない。保存の専門家がいなくても問題である。	良い状態で保存できるよう専門家の意見を聞いていく。
3	魅力は県内最大級の古墳。出土品の展示ができればよい。散策路の案内板（ルート案内）も更新してほしい。旧脇村邸でコーヒーが飲めれば利用が増える。	出土品を展示する場所があればよいと考えている。
4	プロジェクトを立ち上げ、地元の話聞いてくれて感謝している。歴史、文化を通して交流ができるとよい。古墳への道順やトイレの位置を聞かれることが多く、古墳の案内などができる施設の必要性を感じる。公園周辺は、移住者も増えている。それらの人が交流できる施設もほしい。サウンディング市場調査の申し込みがあったということだが概要を教えてください。	これから対話を行うため、現時点では具体的な話ができない。エントリーシートをみる限り、レストランの提案が多いように感じる。パブリックコメントまでに何らかの形で情報を提供したいと考えている。
5	10 年 20 年先の人口減を考えていく必要がある。行政も稼ぐ時代。お金を稼げる施設が必要である。葉山が人気だが、鉄道会社と連携するなどしてアピールしていくべき。	ご提案として承る。
6	観光協会の HP にある「逗子旅」は評価が高い。まんだら堂など良い資源もあり、これらも有料化したらどうか。小田原、鎌倉などで古民家を活用している例があり、参考にしてほしい。サウンディング市場調査の結果はどのように周知するのか。	他市の例は情報収集しているが、参考になる事例があれば情報提供をいただきたい。サウンディング市場調査の結果は、パブリックコメント募集時に添付したい。そのために開始時期を遅らせている。
7	国の補助金は、どのようなものを想定しているのか。また、施設整備費はどの程度かかるのか。	地方創生を目的としている内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を想定している。施設整備費は建物の活用方法によって大きく変わるので現時点ではお示しできない。

8	市がワークショップを開催し丁寧にわかりやすく進めてくれて感謝している。子育てサークルに毎回報告ができた。市場調査などで企業が参入してくる際は、市民の声が届くようにしてほしい。	企業がひとり歩きしないよう、行政がコントロールしていきたい。
9	自然がとても豊かな場所。今後、民間企業が管理していくのか。	ハイキングコースまで民間企業が管理することは難しく市が引き続き行うことになると思われる。ただし、庭木は運営する会社に管理してほしいと考えている。
10	自然の中で子育てする環境を求める移住者が多い。そのような気持ちを大切にしてほしい。 土木工事などは環境負荷が大きいので、それらについても配慮してほしい。	自然豊かな環境が逗子の最大の魅力という認識は行政も市民も一緒であり共有している。